

ジュニパーの最新セキュリティ技術を学習、体感できる
オンラインサイトが続々登場
データセンター、企業ネットワーク、中小及び分散型企业、サービスプロバイダー
など市場と用途に合わせた様々な資料、ツールをご用意しました。

2016年11月号

最新ニュース



パートナーの皆様の支持を受け、チャンネル企業調査で
ジュニパーがトップに

[2016年度チャンネル企業年次評定 \(ARC\)](#) 調査でご回答いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。皆様の投票の結果、ジュニパーはパートナーシップ評価 3項目でトップベンダーに輝きました。この3項目は「チャンネル競合管理」、「売上・利益の潜在的な可能性」、「取引のしやすさ」で、いずれもパートナー様の業績を直接左右するものと位置付けられます。この各項目で、ジュニパーは3年連続で優れた結果を残すことができました。

ジュニパーのチャンネル責任者であるマット・ハーレーは
[ブログ「Partner Watch」](#)を更新し、次のように述べています。

「今回のARC調査結果は、弊社の取り組みが適切であったことを物語っています。弊社のパートナー様向けプログラムは絶えず進化を続けていますが、パートナー様の収益力向上に貢献するという弊社のゴールが変わることはありません」。

2016 Enterprise Networking Infrastructure		Class	Juniper Networks	Dist
Product Quality And Reliability	98.1	92.4	92.8	92.8
Business Of Product Features, Functionality	91.2	88.9	91.8	91.8
Product Technical Innovation	90.2	87.1	91.1	91.1
Product Compatibility & Ease Of Integration	83.8	83.3	84.8	84.8
Marketability	84.1	74.7	79.6	79.6
Service Opportunity	81.4	77.4	81.4	81.4
Product Innovation Average	87.2	81.4	79.7	79.7
Pre-Sales Support	78.2	73.9	87.1	87.1
Post-Sales Support	81.8	75.7	87.2	87.2
Training	76.1	74.4	84.4	84.4
Quality Of Field Management	77.8	76.4	82.8	82.8
Marketing Support	82.2	82.0	81.6	81.6
Support Average	79.1	78.1	84.4	84.4
Partner Portal	77.7	81.2	82.8	82.8
Solution Provider Program	73.8	83.2	82.1	82.1
Competition	79.4	79.2	84.4	84.4
Manage Channel Conflict	84.4	84.4	87.2	87.2

パートナー先としてジュニパーをお選びいただき、ありがとうございます。
年末も好業績を上げるべく、ともにがんばりましょう。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

ミッチ・ルイス (アジア太平洋地域パートナー&アライアンス担当 VP)

セキュリティ関連のニュース・資料



オンサイトでのSRXシリーズの機能紹介に威力を発揮する
「Dare to Know Your Network」デモ&キャンペーン用リソース

パートナーセンターの「[Dare to Know Your Network](#)」ページには、SRXシリーズのデモ機を使って詳細なANR (アプリケーションとネットワークのリスク) レポートを自動発行するセットアップ手順が掲載されています。ANRレポートの結果に基づき、お客様と課題などの検討にご利用ください。

これは非侵入型のオンサイトセキュリティ評価です。この業界トップクラスのセキュリティレポートを基に、ネットワーク上で稼働中のアプリケーション、それに伴うリスク、SRX シリーズ、Security Director、Sky ATP によるリスク軽減方法などについてお客様と話し合うことができます。

「リソース」タブにセットアップ手順が掲載されているほか、[サンプルレポート](#)や[トレーニング Web キャスト](#)の閲覧、ジュニパー マーケティング コンシエルジュの製品情報へのリンク、すぐ利用可能な[マーケティング キャンペーン](#)の確認が可能です。



複数のファイアウォールやスイッチを対象に、**Security Director** のポリシー エンフォースャーが感染箇所の検知・検疫を実行する仕組みをビデオで紹介

[Security Director](#) 用の新しい[ポリシー エンフォースャー](#)を使用すると、感染したホスト デバイスが社内ネットワークに接続するのを防ぐことができます。今回の 2 分間のビデオでは、この仕組みを解説します。

デモではまず管理者がジュニパーのクラウド型サービスである [Sky Advanced Threat Prevention](#) (Sky ATP) にポリシー エンフォースャーを登録するところから説明します。続いて、デフォルト設定のポリシー「**Infected Host Profile**」(感染ホスト プロファイル) を適用します。次に、ユーザーが感染ファイルをダウンロードすると、Sky ATP が検知し、ポリシー エンフォースャーが当該クライアント デバイスを隔離し、ネットワークへのアクセスを阻止する様子が説明されます。

また、ポリシー エンフォースャーが感染デバイスの IP アドレスと MAC アドレスを特定し、即座に複数のスイッチやファイアウォールにまたがってブロック フィルタを適用することがわかります。デバイスを別のスイッチに接続しようとしても、同じようにネットワークへのアクセスが阻止されます。



ネットワーク設計・アーキテクチャ センターがセキュリティポータルを追加、ソフトウェア定義型セキュア ネットワークを解説する新刊登場

ジュニパーではソフトウェア定義型セキュア ネットワーク (SDSN) 構築用のソリューションを提供しています。こうしたソリューションをお客様に紹介するのに便利なのが、新登場の[セキュリティ用のネットワーク設計・アーキテクチャ センター](#)です。

同センターのマトリックス設計では、お客様ごとの課題、導入作業、コンテンツ タイプに基づいてリソースを閲覧できます。いわばワンストップ型のセキュリティ ポータルです。なお、[ネットワーク設計・アーキテクチャ センター](#)には、ほかにも次の 3 つのポータルがあります。

- [データ センター ネットワーク](#)
- [エンタープライズのキャンパス&支店](#)
- [サービス プロバイダ エッジ](#)



セキュリティ ポータルの情報をまとめた SDSN 関連書籍

『Learn About』シリーズに新刊が登場です。SDSN ポータル用に開発された参考資料をまとめ、最新のセキュリティ対策について詳細な解説を加えています。本書は全 88 ページ。SDSN でネットワークを一体的な防御領域に変え、すべてのエレメントがエンフォースメントポイントになるというコンセプトについて詳しく説明します。

PDF 版はこちらからダウンロードできます。

→Apple の各種端末・[iBooks 向けの電子書籍はこちらからダウンロードできます。](#)

→Kindle アプリケーション向けのファイルは [Amazon でダウンロードできます。](#)

ネットワーク設計・アーキテクチャ センターに関するご意見を[情報エクスペリエンス チーム](#)までお寄せください。ジュニパーの書籍に関する詳細は、[Patrick Ames](#) にお問い合わせください。



セキュリティ パートナー アクティベーションキットの更新で新ポリシー エンフォーサー、SRX4000 プラットフォーム、最新のプロモーションなどに対応

最新の[セキュリティ パートナー アクティベーションキット](#)がパートナー センターからダウンロード可能になりました。これは PDF 版のスライドショーになっており、27 枚のスライドに最新プロモーション一覧を含め、「go-to-market」に必要な総合リソースが網羅されています。

- [SRX1500 と SRX5000 を対象に Sky Advanced Threat Prevention を無償で利用に](#)
ユニットごとに提供される Sky ATP の無償版がアクティベートできるため、導入メリットを体験していただけます。
- [SRX5400 アプリケーションセキュリティ バンドル版のプロモーション](#)
(Select および Elite パートナー様限定)
SRX5400 に AppSecure サービスをバンドルし、低価格ながら価値を高めました。詳細については、ディストリビュータまたはパートナー様担当アカウント マネージャーにお問い合わせください。

すぐに利用できるセキュリティ キャンペーンについては、[ジュニパー マーケティング コンシェルジュ](#)をご覧ください。



12月8日のWebキャストのテーマは、ボットネットやWebアプリケーションの脅威からお客様を守る方法

12月8日のライブ オンライン セミナーに、ジュニパーの上席製品マネージャー、バブル・ハリクマールが登場、ファイアウォールのSRXシリーズを使い、C&C（コマンド&コントロール）ボットネットやWebアプリケーションの脅威からお客様を守る方法について解説します。

この優れた機能を魅力的な価格で実現したのが、サービス ゲートウェイの新製品 SRX4100 と SRX4200 です。もちろん機能以外にもさまざまなメリットがあります。コンパクトな次世代ファイアウォールとして、ミッドレンジのキャンパス型エンタープライズ ネットワーク向けにかつてないレベルの柔軟性を発揮します。SRX4000 ファイアウォールは、Sky ATP で幅広いマルウェアを検知するなど、クラウドからの高度な脅威防御機能を備えています。また、vSRX とのシームレスな連携にも対応しており、パブリック クラウドやハイブリッド環境にも対応します。

12月8日（木）のアジア太平洋地域向け Web キャスト（全 60 分）に[今すぐ登録](#)ください。各地の開始時間は以下のとおりです。

ニューデリー 8:30AM
 香港・シンガポール・北京 11:00AM
 東京 12:00（正午）
 シドニー 2:00PM

オンデマンド配信されている本シリーズの Web キャスト

[ジュニパー セキュリティ ビジョン 2016](#)
[ジュニパー ネットワークス 2016 年セキュリティに関するビジョンとキャンペーン](#)
[ジュニパーのセキュリティ製品による課題克服と成功](#)

その他のセキュリティ関連資料

[セキュリティ パートナー アクティベーション キット](#)
[ジュニパーのファイアウォール移行クラウドツール](#)
[ScreenOS から SRX シリーズへのアクセラレーション プレイ シート](#)

データ センター&クラウド関連のニュース・資料



自動化技術が体感・習得できるOpenLabが各地で開設

OpenLabはお客様やパートナー様向け自動化の技術を体感・学習できる設備です。本拠地であるニュージャージー拠点に加え、新たに世界の6拠点（カリフォルニア州サニーベール、ロンドン、アムステルダム、東京、シドニー、シンガポール）で順次開設していきます。すでに開設された各地では自動化のトレーニングの開催が始まっています。

会場・期日についてはグローバルの「オープンラボ [ラーニング ポータル](#)」でご確認ください。
 ※日本では2016年12月中に開設を予定しております。改めてご案内いたします。

サービス プロバイダ関連のニュース・資料



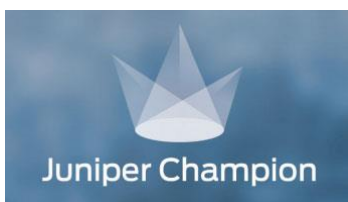
SD-WAN 関連のビデオ、ブログ、レポート、Podcast でネットワーク全体への SDN のメリットを解説

SDN の適用領域をデータ センターだけにとどめず、ネットワーク全体の自動化への活用をめざしています。ジュニパーの SD-WAN ソリューションを活用した収益アップ術をサービスプロバイダ向けにぜひご紹介ください。

既存のお客様や見込み客の方々に提供可能な SD-WAN と関連の資料をまとめました。その他のセールス ツールは、パートナー センターの [サービスプロバイダルーティング](#) や [SDN/NFV](#) のページにもあります。

- [拡大する 2016 年の仮想エッジ：SD-WAN と vCPE のレポート](#)
 →発行は SDx Central。
 ジュニパー クラウド CPE、キャンパス対応支店向けソリューションを中心に解説
 (要登録)
- [ネットワーク仮想化と SDN コントローラの未来に関するレポート](#)
 →発行は SDx Central。
 ジュニパーネットワークス Contrail を含みます (要登録)
- ブログ「[SD-WAN, NFV のベストフレンド](#)」
 →ジュニパーのサービス プロバイダ戦略マーケティング チームの
 電話会社垂直マーケティング責任者、デイビッド・ノーゲア・ボウ
- ブログ「[SD-WAN の期待と現実](#)」
 →デイビッド・ノーゲア・ボウ
- ブログ「[SD-WAN の世界で電話会社が果たす役割](#)」
 →デイビッド・ノーゲア・ボウ
- ブログ
 「[支店向けサービスをカスタマイズした上で低コストで提供することは決して矛盾ではない](#)」
 →ジュニパーのグローバル 金融業界垂直サービス担当 CTO・マネージング ディレクター、
 ハープリート・ジーキー
- 記事「[変化するWAN市場でサービス プロバイダが成功するための戦略](#)」
 →ジュニパー サービス プロバイダ マーケティング
- ビデオ「[SD-WAN で新サービスを提供](#)」

パートナー プログラム関連のニュース



もうすぐ年末、ジュニパー チャンネル パートナーの皆様にはチャンピオンプログラムからのお知らせ

パートナー様のテクニカル スタッフの皆様、有効期限を迎えるバウチャーのご利用はお早めに。また、まもなく 2017 年の認定ステータス更新時期を迎えますのでご準備ください。

- 1月1日時点で現在のチャンピオンステータスを維持するためには、すべての JNCP 認定資格が 2016年12月31日時点でアクティブ ステータスになっている必要があります。お手元の認定書をご覧ください、認定資格が 12月31日までに期限切れを迎える場合、更新の必要があります。
- 2016年第1四半期～第3四半期にお受け取りになられた Pearson VUE の認定試験バウチャーは、2016年12月31日に期限切れを迎えます。有効期限の延長はできないため、新年度を迎える前にどうぞご利用ください。期限後は無効となります。なお、第4四半期にお受け取りになられたバウチャーは 2017年末に期限を迎えます。
- ジュニパートレーニングクレジット (JTC) は、お受け取りになられてから 1年で有効期限を迎えます。Ingenious レベルの場合、リワードは JTC300ドル相当が含まれます。有効期限は発行から 1年後に設定されます。期限の延長はできないため、ご利用予定の方はどうぞお忘れなく。



TechWiki 紹介のビデオと Docker コンテナのジュニパーの強みを解説するビデオ

“小さなシンクタンク”「Channel Minutes」のビデオでは、ジュニパーのアンドレア・ジャラミロがコーディリア・ノーマンをゲストに迎え、TechWiki やジュニパーのパートナー様がジュニパー製品のソリューション、ティップス、裏技など上手な使いこなし術について語り合います。

右図のビデオでは、クラウドアーキテクトのジェームズ・ケリー、セールス担当シニアディレクターのイシャリ・ギジャが Docker コンテナについて話し合います。ジュニパーと Docker の関わり、この分野でのジュニパーの強みなどを解説します。



本シリーズの過去のビデオはこちらから

[チャンネル関連ビデオの一覧](#)はパートナー センターでご覧いただけます。



Day One ブックスを陳列する「Juniper BookDrop」で お客様への訴求力アップ

「トレーニングはマーケティング。どんな話題を取り上げるにせよ、よそではできない内容の深さと幅を心がけること」。

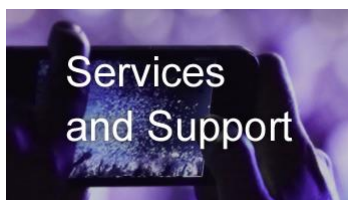
先ごろ開催された Juniper Go-to-Market スタッフ向けワークショップで、ビジネス書の著者である [アン・ハンドリー氏](#) がこのようにアドバイスしました。その点、ジュニパーが新たに開始した [Juniper BookDrop](#) は、内容を深めるうえで非常に便利なツールになります。

BookDrop は使いやすいラックに 20~50 冊の印刷版 Day One ブックスを陳列・販売できるサービスです。イベントやトレーニング、特別なお客様向けセミナー、イノベーション・デイズなどに最適です。また、お客様の社内に設置させてもらうのにも適しています。印刷版の Day One ブックスを大切なお客様や見込み客の皆様へ提供したり、[Day One Library](#) から無料でダウンロードできる PDF 版の見本としてご覧いただいたりするときに便利です。



BookDrop はジュニパー製品を扱うサードパーティのベンダーである Vervante によって運営されています。クレジットカードでの購入に対応しており、購入した書籍は世界中に発送可能です。印刷版のショップである [Day One Print Store](#) での注文はわずか数分で完了します。また、「[Best of Day Ones](#)」と銘打ってベスト作品を集めてブックラックも付属するバンドルセットが用意されています。さらに、ラックに特定のタイトルを組み合わせることでカスタマイズすることも可能です。

サービス関連のニュース・資料



グローバルパートナー様向けのマルチテリトリーポリシーとインカンベンシーポリシーが改定、保守契約の販売・サポート方法がさらに明快に

グローバルパートナー インカンベンシー ポリシー

[Global Incumbency Policy](#) が改定され、米州・EMEA 地域に限定して適用されていた現行ポリシーがワールドワイドに拡大しました。新ポリシーは、地域が変わっても条件、定義、ディスカウントの面で一貫性・明確性が維持されます。

また、FAQ や他のリソースにもこのポリシーは適用されます。詳細はパートナーセンターにある [プレゼンテーションファイル](#) をご覧ください。

グローバルパートナー マルチテリトリー ポリシー

パートナー様が既存の契約テリトリー外のエンドユーザー拠点に対してジュニパーの保守契約を販売・サポートする際の手順などについて定める [グローバルパートナー マルチテリトリー ポリシー](#)が改定されました。具体的には条件、見積もり、オーダー、追加資料などの規定が定められています。また、承認取得のための申請フォームも含まれています。詳細はこちらの[プレゼンテーションファイル](#)をご覧ください。



新しい見積もり依頼ツールで契約更新が効率化

ジュニパーネットワークスは、保守契約の更新手続きの改善・迅速化に力を注いでいます。今月、セルフサービス型の[更新見積もり依頼ツール](#)の運用を開始します。ジュニパーからサービスの直接購入が認められているジュニパーのディストリビューターや DVAR の皆様にとっては、保守契約更新手続きを自動化できます。

これまで標準の更新見積もり依頼の処理には数日間を要していましたが、今回の新ツール導入により、所要時間がわずか数分程度にまで大幅に短縮されることになります。詳細については、[プレゼンテーション \(掲示板\)](#) や [プレゼンテーションファイル](#)をご覧ください。